



Vol.4

今年度最後にご紹介するのは、郡山市で元気に活動が続けている団体です。

ずーぼらの会

(ずーっとぼらんていあの会) 郡山市

活動内容

○特別養護老人ホームでのボランティア・慰問活動

様々な活動で利用者を元気に

郡山市大槻町のずーぼらの会(ずーっとぼらんていあの会)は、地域にある特別養護老人ホームで利用者のための様々なボランティア活動を行う団体で、平成13年に発足してから現在までの12年間、熱心楽しく活動を続けています。

主な活動は月に1度開催する「日曜喫茶」。手作りのお菓子や飲み物を利用者に振る舞い、それぞれ好きなものを楽しんでいただくとともに、毎回多彩な出演者をお呼びし、ハワイアンショー・ハーモニカ演奏・日本

舞踊・ジャズ演奏といった催し物を開いています。利用者からは大変好評で、「次が待ち遠しい」「もっと多くやってほしい」といった声が多く聞かれています。その他、施設の夏祭りや運動会、クリスマス会等のイベントを手伝ったり、利用者の買い物付き添いやホームの畑・庭の草むしりなども行っています。



メンバー手作りのお菓子は利用者に大人気です。

施設の利用者とずーっと関わっていききたい

この会を立ち上げ、現在も企画調整などを中心役割を担っているのが、会長の石田陽子さん(72歳)。地域に初めて特別養護老人ホームが



会長の石田陽子さん

開設されたときに「自分たちの地域の施設に何か貢献したい、これからもずっと関わっていききたい」と思い立ちました。会の名前は「ずーっとボランティアをしていきたい」という意味を含め名付けたのだといいます。開設して間もない施設の利用者に、何をしたら楽しく生き生きとしてもらえるか?と思考を巡らし、その結果思いついたのが「日曜喫茶」でした。活動は地域の友人を通じて徐々に広がり、メンバーも増えていきました。現在では地元の高校生や小学生も活動に参加しており、利用者からも大変喜ばれています。

ボランティアは楽しい!

「利用者の皆さんの笑顔を見ただけでうれしくなります」と、いつも先頭に立つて活躍する石田さんは、様々な活動を通じて利用者の方々とふれあいに一番の楽しさを感じている

そう。これからも一生懸命楽しく続けていきたいと、今後の目標を話してくれました。

日曜喫茶の他に、石田さん個人の活動で音楽療法としての歌の指揮を行うほか、つるし雛作りを希望者に教えたり、買い物ツアアの付き添いを務めたりしています。また、ボランティアで参加する子どもたちにお年寄りの気持ちで接することができるようにと高齢者疑似体験なども行っており、予定表は埋め尽くされています。7年前に亡くなった実母がこの施設にお世話になったといい、その感謝の思いが、施設利用者を実の親のように「本当にかわいい」と屈託なく話す石田さんの笑顔に表れていました。



100回記念時の日曜喫茶。多くの利用者が参加し、大賑わいでした。